



第42回

## 中秋の名月を見よう

博物館・プラネタリウム (☎355-2700 FAX355-2704)



日本では旧暦の8月15日の月を「中秋の名月」と呼び、お月見をする風習があります。旧暦は月の満ち欠けをもとにした暦で、今年(2019年)は9月13日が「中秋の名月」に当たります。

「名月」といえば満月を連想しがちですが、今年(2019年)は、満月の前日にあたり、9月14日が満月です。月は地球の周りをだ円軌道を描いて公転しているため、地球に近いときと遠いときがあり

ます。今年の「中秋の名月」は今年最遠で、地球から40万km以上も離れており、翌日の満月も、今年最も小さく見える満月になります。

とはいえ、満月前後の月はとても明るく、望遠鏡でのぞくとまぶしいくら



ティコクレーターの光条  
画像提供：国立天文台

いです。また、月の表面には、クレーターから放射状に白い筋がのびている様子も見られます。

この白い筋は光条こうじょうと呼ばれ、小天体が月に衝突した時の噴出物だと考えられています。

博物館では、9月13日(金) 19:30~21:00に、市民公園で移動天文車きらら号による観望会「中秋の名月を見よう」を予定しています。今年(2019年)は望遠鏡で、ひと味違った「名月」を楽しんでみませんか。



◆池一面に咲く蓮の花 (7月26日 大矢知地区)

◆川島子ども自転車乗り教室 (7月31日 かわしま園集会所)



この池は、過去に産業廃棄物の影響で蓮が全滅したことがあります。しかし、昔から「蓮溜め」と親しまれていたことから、復旧対策工事が行われた際植栽され、蓮の花が咲き誇る池へと復活しました。



交通安全教育指導員「とみまつ隊」の、とみまつけんちゃんと自転車の安全な乗り方などを学び、自分の自転車で実践をする教室です。分かりやすく楽しい説明に、子どもたちは聞き入っていました。

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部

随時加入者 募集中

三建国保

組合独自の建設労働者の健康保険

出産育児一時金 (42万円)  
葬祭費 (本人10万円・家族7万円)  
高額療養費、無料健康診断の開催  
人間ドックに対する補助 (3万3千円)  
脳ドックに対する補助 (2万円) など

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。